

独立行政法人労働者健康安全機構 釧路ろうさい病院

地域医療連携総合センターだより

No.75

Ⅰ.地域医療連携総合センターの紹介

Ⅱ.レスパイト入院について



発行:令和2年5月 釧路労災病院地域医療連携総合センター



理念：最新の知識と技術に基づき、良質で信頼される医療を実践します。

Ⅰ.地域医療連携総合センターの紹介

当センターでは、PFM（Patient Flow Management）システムを活用し患者さんにとって切れ目のない、安心で質の高い医療を提供する体制をとっております。また、4月より地域連携看護師長が配置され、看看連携はじめ地域医療支援病院としてより地域に密着した体制づくりに取り組んでおります。

《入退院支援について》

MSW4名、退院調整看護師3名、入院支援看護師2名が配置されています。

患者の入院予約時には、入院支援看護師中心に、薬剤師、事務、MSW など多職種が様々な情報を収集し、専門的ケアに繋いだり、地域のケアマネージャーさんや訪問看護師との連携を早期に行い、住み慣れた地域へ安心して退院できるよう対応しております。

退院調整については、4月から看護師とMSWがペアを組み、お互いの特徴を活かし協働することで患者さん個々に合わせた退院支援を心掛けております。

《レスパイト入院について》

介護者のレスパイトや被介護者のリハビリ、介護者の急な用事などにもできる限り対応しております。事前に所定の用紙に必要事項を記載していただき、地域医療連携総合センターまでFAXしていただき、その情報をもとに当院での受け入れを検討します。当院かかりつけ以外の患者さんについては、かかりつけ医からのご紹介があるとよりスムーズに対応できますので、ご協力をお願いいたします。

《皆様からのご相談について》

地域包括ケア病棟を有効に活用していただけるよう、レスパイト入院を充実させていきたいと考えております。例えば、地域の高齢者の中には、栄養士やリハビリなどしかるべき介入により生活機能の維持ができていないフレイルの状態の方がいらっしゃいます。当院通院中の患者さんについては、スクリーニングなどを実施し対象となる患者さんの抽出をしていきます。また、地域で関わっておられる開業医の皆様をはじめ、ケアマネージャーさん、そして訪問看護や介護に携わっておられる方々からのご相談にも適宜対応したいと思っておりますので、お気軽に当センターまでお問合せいただきたいと思います。



地域連携看護師長（看護副部長） 三澤 由美子

Ⅱ.レスパイト入院について・・

レスパイトとは「一時休止」「休息」という意味で、介護者の日々の疲れ冠婚葬祭、旅行などの事情により、一時的に在宅介護が困難となる場合に期間を設けた入院の受け入れを行い、介護者のご負担を軽減を目指す仕組みです。



家族の急な入院・旅行



ご家族の介護疲れ

◇対象となる方 ～下記の様な医療管理が必要で、介護保険によるショートステイの利用が困難な方～

- ・がんの疼痛管理（当院で経過観察をしている方）
- ・夜間でも吸引が必要
- ・点滴、胃瘻、経鼻での栄養が必要
- ・気管切開をしている
- ・その他（褥瘡処置、在宅酸素など）



◇受け入れ病棟・期間

- ・地域包括ケア病棟
- ・2週間以内（退院後は、ご自宅または居住系施設へお帰り頂きます）

◇ご利用方法（各書類をFAXにてお申込みください）

1. 「事前予約」と「かかりつけ医」の紹介が必要となります。
2. ご利用希望の2週間前までに「かかりつけ医」より当センターへお申し込みください。

＜お申し込み時必要な書類＞

- ・診療情報提供書（任意様式）
- ・レスパイト入院申込書兼返信書（当院指定）※1

※1 レスパイト入院申込書兼返信書は当院ホームページからダウンロード可能です。

または、当センターへご連絡願います。

◇ご留意頂くこと ※満床の場合、ご希望に沿うことができない場合があります。

- ・血液検査、レントゲン検査、他科受診は原則行いません。
- ※状態により医師の指示のもと実施する場合がございます。
- ・処方薬確認のため、入院時はお薬を持参頂きます。

□地域医療連携総合センター ☎（直通）0154-32-3464

☎（直通）0154-32-3465／入退院支援 直通 0154-21-9860

ホームページ：<http://www.kushiroh.johas.go.jp>



お問い合わせ先：地域医療連携総合センター 電話 0154-32-3464（直通）